

[科目名] 地域と情報ネットワーク	[単位数] 2単位	[科目区分]
[担当者] 木暮 祐一 Yuichi Kogure	[オフィス・アワー] 時間: 場所:	[授業の方法]
<p>[科目の概要]</p> <p>人口減少社会を迎え、地方の過疎化や地域産業の衰退などが大きな課題となっている。こうした中で政府は 2021 年に「デジタル田園都市国家構想」を打ち出した。これは国と地方は役割を分担しながら、東京圏への過度な一極集中を是正して多極化を図り、地方の社会課題解決を成長の原動力とし、デジタルによる地域活性化を進め地方から国全体へボトムアップの成長を実現することを目的としている。</p> <p>地方の活性化を図るには、地域の経済・社会に密接に関係する様々な分野において、デジタルの力を活用し、社会課題の解決や魅力向上を図ることが必要である。本講義では、情報通信技術 (ICT) の基礎やその基本的活用を理解した上で、デジタル技術の社会実装を実現させた各地の事例などを参照しながら、デジタル技術を地域で役立てるための基礎力を養っていく。</p>		
<p>[「授業科目群」・他の科目との関連付け]・[なぜ、学ぶ必要があるか・学んだことが、何に結びつか]</p> <p>コンピュータやスマートフォン、それらの上で利用されるインターネットなど、現代において ICT の利活用は不可欠となっている。さらに IoT に総称される各種センサーデバイスやウェアラブル端末、ロボット、ドローン、そして AI (人工知能) 等の利活用などを総称して「デジタル技術」と呼ぶようになった。地域における安心安全な暮らしの実現や、地域の発展において情報通信ネットワークを介したデジタル技術の活用は必要不可欠になっており、本講義を通じてデジタル技術をどのように活かしていくかを理解しておくことは、今後社会に出てから様々な場面で役立てることができる。</p>		
<p>[科目の到達目標(最終目標・中間目標)]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 情報通信技術 (ICT) の基礎を理解する。ICT の入り口はパソコンやスマートフォンを通じたコミュニケーションやサービスの活用であり、まずはその基本的活用方法を理解する。 ・ 地域の活性化や地域の社会課題解決にデジタル技術を活用した事例を理解する。 ・ 地域における課題は地域ごとに個別特有の問題を抱えており、地域の特性を考えて適切なデジタル技術を実装していく必要がある。こういった課題にどのようなデジタル技術を活用できるのかを提案できる力を身につける。 		
[学生の「授業評価」に基づくコメント・改善・工夫]		
<p>[教科書]</p> <p>とくに指定しない。講義にはスライドを使い、スライドのデータや必要な資料は PDF 形式にて配布する。</p>		
<p>[指定図書]</p> <p>講義の中で必要に応じて案内する。</p>		
<p>[参考書]</p> <p>講義の中で必要に応じて案内する。</p>		
<p>[前提科目]</p> <p>なし</p>		
<p>[学修の課題、評価の方法] (テスト、レポート等)</p> <p>レポートを課して評価する。</p>		

<p>〔評価の基準及びスケール〕 A～F に関しては大学の基準に準ずる</p>	
<p>〔教員としてこの授業に取り組む姿勢と学生への要望〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 講義科目ではあるが、一方的にならないように意見を求めることがある。そのため常に緊張感をもって、積極的に発言を行い、科学的な探求精神を養ってほしい。 今後の学びにつながるような好奇心を育む講義を目指していきたい。分からないことがあれば自身で積極的に調べるなど情報収集に当たってほしい。広く興味関心を広げてほしい。 	
<p>〔実務経歴〕 1992年～2000年 出版業(株式会社法研 編集部、株式会社アスキー インターネットメディア局) 2000年～2002年 情報通信業(KLab 株式会社 広報宣伝部) 2021年～2023年 情報通信業(ソフトバンク株式会社 渉外本部) 2023年～現在 情報通信業(ソフトバンク株式会社 CSR 本部) などの企業における実務経歴を持つ。</p>	
<p>授業スケジュール</p>	
第1回	<p>テーマ(何を学ぶか): この講義で学ぶこと 内 容: 講義の進め方、なぜこの講義の受講が必要なのか。情報通信技術(ICT)の進展とネットワークの活用、それによる高度情報化社会を考える。政府が考える「デジタル田園都市国家構想」とは、そのロードマップなど。 教科書・指定図書 とくに無し</p>
第2回	<p>テーマ(何を学ぶか): 204X年の未来社会 内 容: 政府が提唱する未来社会のコンセプト「Society5.0」とは、その未来社会を展望すると共に、その未来を実現するために必要なデジタル技術を俯瞰する。 教科書・指定図書 とくに無し</p>
第3回	<p>テーマ(何を学ぶか): ネットワーク社会を支える情報通信技術 内 容: 通信とは何か、狼煙(のろし)からスマホによるコミュニケーションまで。情報通信技術(ICT)の理解、情報通信産業の理解、情報通信産業と他産業との位置づけ。 教科書・指定図書 とくに無し</p>
第4回	<p>テーマ(何を学ぶか): デジタルトランスフォーメーション(DX) 内 容: デジタル技術の活用には、デジタイゼーション、デジタルライゼーション、デジタルトランスフォーメーション(DX)の3つのステップがある。具体事例をもとにDXについて理解する。 教科書・指定図書 とくに無し</p>
第5回	<p>テーマ(何を学ぶか): DXによる働き方改革 内 容: DXを実践し、業務効率を高めた事例について学ぶ。 教科書・指定図書 とくに無し</p>
第6回	<p>テーマ(何を学ぶか): 国が示すDXの重要施策分野(1) 地域交通 内 容: MaaS等のデジタル技術の活用等により、持続可能で利便性の高い地域公共交通ネットワークについて理解する。 教科書・指定図書 とくに無し</p>
第7回	<p>テーマ(何を学ぶか): 国が示すDXの重要施策分野(2) 遠隔医療、こども政策 内 容: 医療資源が限られた地域の医療提供体制の選択肢の幅を広げる観点等から遠隔医療の活用が期待されている。さらに地域間連携、デジタル化・オンライン化などにより、居住地に関わらず、切れ目のない医療と母子保健サービスが求められている。事例をもとに理解する。 教科書・指定図書 とくに無し</p>
第8回	<p>テーマ(何を学ぶか): 国が示すDXの重要施策分野(3) 地方創生テレワーク 内 容: 地方と都市の差を縮め、活力ある地域づくりにつながる地方創生テレワークの導入・定着を進めている。事例をもとに理解する。 教科書・指定図書 とくに無し</p>

第9回	<p>テーマ(何を学ぶか):国が示すDXの重要施策分野(4) 教育DX</p> <p>内 容: 地域独自の学習コンテンツの開発、オンラインによる学校間交流・教育活動の実施などの教育DXが推進されている。事例をもとに理解する。</p> <p>教科書・指定図書 とくに無し</p>
第10回	<p>テーマ(何を学ぶか):国が示すDXの重要施策分野(5) 観光DX</p> <p>内 容: 移動や購買データ等の高度活用などによる観光DX 事例を学ぶ。</p> <p>教科書・指定図書 とくに無し</p>
第11回	<p>テーマ(何を学ぶか): デジタル社会を支えるハード・ソフトのデジタル基盤整備</p> <p>内 容: デジタル社会の実現に不可欠なデジタルインフラの整備について、国の取組みを理解する。</p> <p>教科書・指定図書 とくに無し</p>
第12回	<p>テーマ(何を学ぶか):誰一人取り残されないための取組み</p> <p>内 容: 地理的な制約、年齢、性別、障害の有無等にかかわらず、誰もがデジタル化の恩恵を享受できる社会を実現させるには。</p> <p>教科書・指定図書 とくに無し</p>
第13回	<p>テーマ(何を学ぶか): 地域におけるデジタル技術を活用した課題解決を考える(1)</p> <p>内 容: グループワークによりデジタル技術を活用した地域の課題解決に関するアイデアを考える。</p> <p>教科書・指定図書 とくに無し</p>
第14回	<p>テーマ(何を学ぶか): 地域におけるデジタル技術を活用した課題解決を考える(2)</p> <p>内 容: グループワークによりデジタル技術を活用した地域の課題解決に関するアイデアを考える。</p> <p>教科書・指定図書 とくに無し</p>
第15回	<p>テーマ(何を学ぶか): 地域におけるデジタル技術を活用した課題解決を考える(3)</p> <p>内 容: グループワークによりデジタル技術を活用した地域の課題解決に関するアイデアを考える。</p> <p>教科書・指定図書 とくに無し</p>
試験	<p>課題レポートを課す</p>